

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 出エジプト記 20:2-3・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 29番 いざ聖徒よ
- \*交読文 …………… 38番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 171番 はとのごと降る
- 礼拝のための祈り ……… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林 伝道師
- 賛美 …………… 388番 あくまと戦え
- メッセージ …………… 主の上げ膳・据え膳(出エジプト記 5章)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 396番 主イエスのみ名高く
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告 ……………
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

\_\_\_\_よ、さめよ、さめよ、力を着よ。\_\_\_\_よ、美しい衣を着よ。割礼を受けない者および汚れた者は、もはや\_\_\_\_のところには、はいることがないからだ。捕われた\_\_\_\_よ、\_\_\_\_の身からちりを振り落せ、起きよ。捕われたシオンの娘よ、\_\_\_\_の首のなわを解きすてよ。主はこう言われる、「\_\_\_\_は、ただで売られた。金を出さずにあがなわれる」。主なる神はこう言われる、「\_\_\_\_はさきにエジプトへ下って行って、かしこに寄留した。またアッスリヤびとはゆえなく彼らをしえたげた。それゆえ、今わたしはここに何をしようか。わが\_\_\_\_はゆえなく捕われた」と主は言われる。主は言われる、「彼らをつかさどる者はわめき、わが名は常にひねもす侮られる。それゆえ、\_\_\_\_はわが名を知るにいたる。その日には\_\_\_\_はこの言葉を語る者がわたしであることを知る。わたしはここにおる」。・・・去れよ、去れよ、そこを出て、汚れた物にさわらな。その中を出よ、主の器をになう者よ、おのれを清く保て。\_\_\_\_がたは急いで出るに及ばない、また、とんで行くにも及ばない。主は\_\_\_\_がたの前に行き、イスラエルの神は\_\_\_\_がたの／しんがりとなられるからだ。見よ、わがしもべは榮える。彼は高められ、あげられ、ひじょうに高くなる。(イザヤ 52:1-13)

聖書の中で、エジプトは神の民を奴隷にする「奴隷の家」と表現されている。そこから神が解放して下さった記述が出エジプト記であり、主は「わたしはあなた方を奴隷の家から贖い出した、あなたの神、主である」と何度も語られた。主は私達をも、「世」というエジプトから、そして「サタン」というエジプトの王パロから、救い出して下さる。今回も先週に続き、奴隷を強いる者および「奴隷根性」から脱出する術を学びたい。

モーセはかつてエジプトにひどい目に遭わされ、恐れていたが、神の言葉によって奮い立ってエジプトに戻り、パロと対峙する。『パロに言った、「イスラエルの神、主はこう言われる、『わたしの民を去らせ、荒野でわたしのために祭をさせなさい』と。』(出エジプト記 5:1) 日本では、横暴な支配者からの要求を最優先にさせられ、礼拝がままならない事が多いため、この種の真理を貫く戦いが頻繁に行われるかもしれないが、この種の戦いは、神の言葉を正確に宣言する所から始まる。モーセはまずそれに成功した。『パロは言った、「主とはいったい何者か。わたしがその声に聞き従ってイスラエルを去らせなければならないのか。わたしは主を知らない。またイスラエルを去らせはしない。』(2節) パロの答えは、実に想定内だった。ただし、こう言えばこう返ってくる、と想定して、諦めて何も伝えないのは、100%の敗北である。兎にも角にも主の言葉を宣言する事が、勝利の第一歩である。モーセはこのパロの迫力に飲まれてしまう。『彼らは言った、「へブルびとの神がわたしたちに現れました。どうか(「ナア」:お願いですから)、わたしたちを三日の道のりのほど荒野に行かせ、わたしたちの神、主に犠牲をささげさせてください。そうしなければ主は疫病か、つるぎをもって、わたしたちを悩まされるからです。』(3節) 神は果たして、礼拝が出来ずに悲しむ民を、疫病か剣をもって悩まされるだろうか？真逆である！4:22-23を見ると、神の子である彼らに礼拝させるのを拒むなら、神は「パロの長子を殺す」と言っておられた。モーセの言葉は、優しさでも謙遜でもなく「卑屈」であり、サタンは、卑屈な言葉に対して、もっと調子に乗って無理難題を吹きかけてくる。御言葉をアタマで覚えていたとしても、いざ偉い人の前で、ここぞという時に宣言しようとする、頭が真っ白になったり、せつかく蓄えた御言葉が出なかつたり、あるいは、間違って言ってしまったりする事がある。御言葉は本来、心の中に「存在(ハヤー)」させ、その存在があふれるばかりにさせなければいけないのに(申命記 6:6)、それをしていない状態だと、このようになってしまうのだ。サタンは、御言葉の存在があやふやな状態の人には、調子に乗って、御言葉とは真逆の事を要求して来る。エバの時もまさにそうだった。『エジプトの王は彼らに言った、「モーセとアロンよ、あなたがたは、なぜ民に働きをやめさせようとするのか。自分の労役につくがよい。』(4節) パロはモーセの怖気づいた様に力を得、ますます神の民を虐げる。パロはさらに調子づいて、そんな事を言うなら、もうレンガ造りの材料は与えないが、徹夜残業してでも元々のノルマは達成せよ、と突きつける。日本はまさにそういう霊が働いている。主日に礼拝に行く人を「なまけもの」と呼び、無私で働く事が美徳であるかのようにして、家庭を、いのちの営みを、貶める。主にあつて王であり、祭司であるキリスト者が、パロの「自分の労役につくがよい」という言葉に「はい」と言ってひれ伏し、王かつ祭司の務めを放棄してパロの労役に勤しまとするなら、何と本末転倒な事だろう。しかし残念ながら、実に多くのキリスト者が、本来の務めを放棄し、パロが命じる苦役に奔走しているのだ。

モーセは長年、奴隷のような縛りを受けて気弱になり、口下手になってしまっていたため、最初の会合は、いわば「失敗」に終わったかもしれないが、主はそんな人間の弱さをちゃんとご存知で、フォローして下さい。ちょうど、子供のたった一度の失敗をもって、親が子供を永遠に見放すなどという事は、あり得ないように。モーセは、この最初のパロとの会合で、主の言葉どおりの「しるし」を行う事が出来なかったが、7章 8-10節を見ると、主は、パロの口を通して「しるしを行って見せよ」と言わせ、杖をへびにするしるしを披露できた。主は、私達の弱さ故に御言葉をその通り宣言できないとしても、しるしを行う機会を逃してしまつたとしても、敵の思考や唇をも支配して、お膳立てし、私達に御言葉を語らせ、しるしを行わせてくださるのだ! 主が私達の弱さを知り、主の御言葉を伝え、御業を成そうとする者には、敵を支配してでも、私達が成功するまで、そう下さる。そうであるからには、何度でもチャレンジするべきである。最も良くないのは、主の「上げ膳据え膳」に乗らず、あきらめて何もしない事、元の奴隷に戻って、口を開かない事である。自信をもって御言葉を伝え、御業を為していく皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

# 横浜天声キリスト教会 礼拝 週報



## 集会案内

### 主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 賛美 10:30 礼拝 11:00  
 食事/フェローシップ 12:30～  
 English Service 14:00～

### 日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～  
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
 火～木 夜の祈祷会 19:30～

### 水曜礼拝

1部 13:00～  
 2部 19:30～  
 金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

## アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
 JR・関内駅より徒歩10分  
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
 聖書メッセージをメールで  
 毎日携帯にお届けします。  
 左記コードを読み込み、  
 空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube